

2022年3月期 決算ハイライト

2022年3月期 連結業績サマリー

- ◆ 売上高及び各利益指標において、1926年創業以来の過去最高実績を実現
- ◆ 営業利益率は、商品ミックスの良化と、業務改革に伴う効率化により上昇

(単位：百万円)

| | 2021/3月期 | 2022/3月期 | 前年比 (YoY) |
|-------------------|----------|----------|-----------|
| 売上高 | 35,588 | 42,337 | +19.0% |
| 営業利益 | 3,444 | 4,780 | +38.8% |
| 経常利益 | 4,253 | 5,572 | +31.0% |
| 親会社に帰属する 当期純利益 | 2,623 | 3,541 | +35.0% |
| 総資産 | 49,458 | 55,818 | +12.9% |
| 純資産 | 36,133 | 40,210 | +11.3% |
| 自己資本比率 (%) | 65.2 | 63.8 | -1.4pts |
| ROA (%) | 5.4 | 6.7 | +1.3pts |
| ROE (%) | 8.3 | 10.4 | +2.1pts |
| 営業利益率 (%) | 9.7 | 11.3 | +1.6pts |

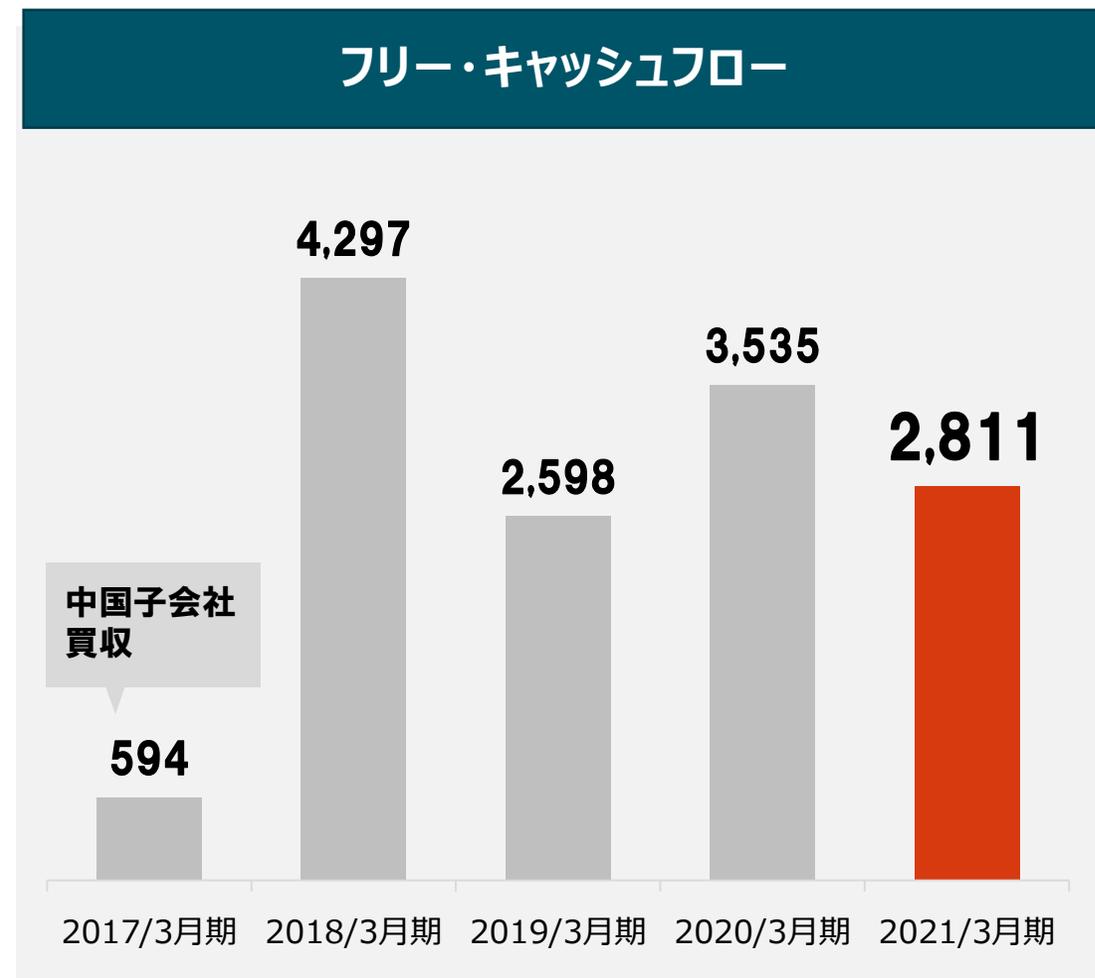
為替の影響

+16.9億円

2022年3月期 キャッシュフロー

- ◆ 営業CF：売上債権の増加により収入が減少
- ◆ 財務CF：非支配株主への配当金の支払額が増加したことで支出が増加

(単位：百万円)



2022年3月期 地域別連結売上高

地域ごとの販売割合が分散していることから、世界経済の地域別変動に対するリスクヘッジになっている

(単位：百万円)

ヨーロッパ(13.4%)

5,663

+21.8% YoY

アジア(34.3%)

14,536

+32.3% YoY

圧縮機

中国子会社による中国国内・輸出販売

インドにおける医療向け圧縮機販売

連結売上高

42,337

+19.0% YoY

※納入地ベースでの
実績換算

北米・その他(14.4%)

6,086

+30.1% YoY

日本(37.9%)

16,050

+5.1% YoY

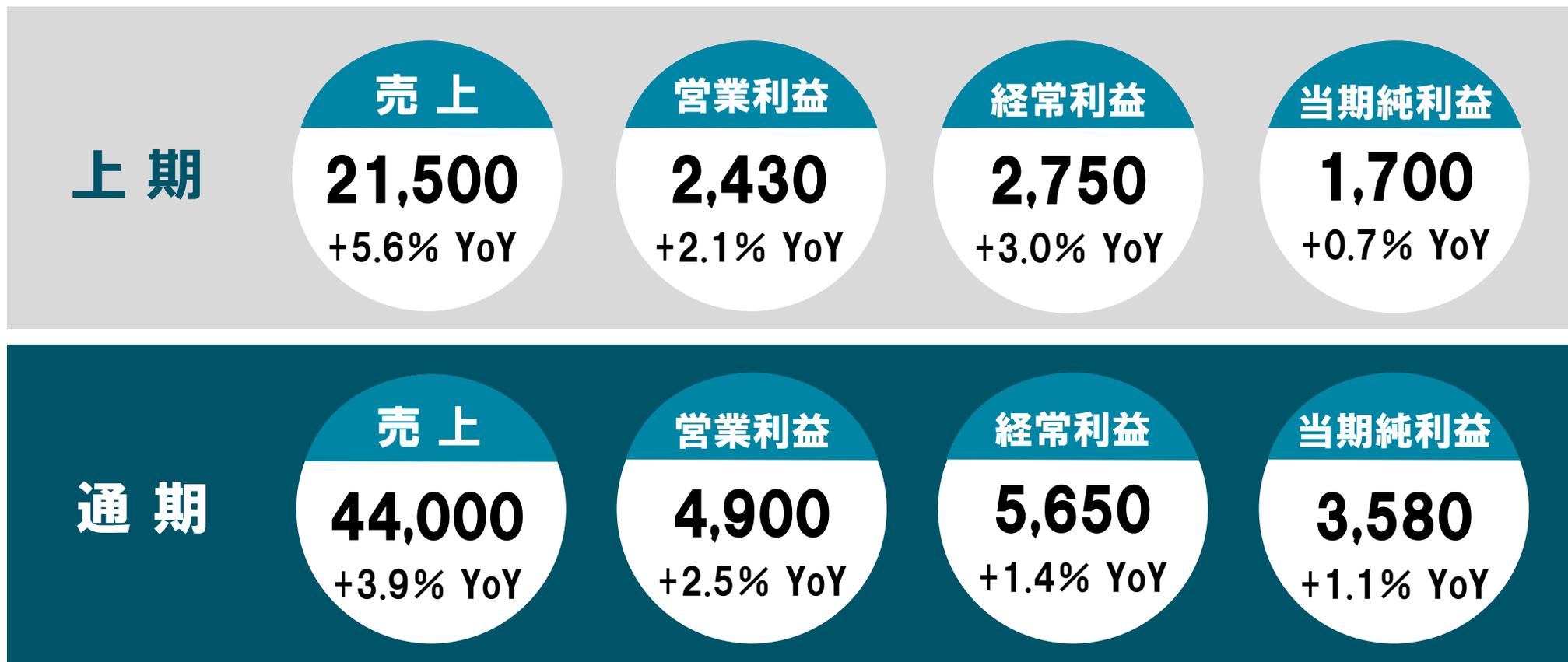
塗装設備

新型コロナウイルス禍による営業活動の
停滞

2023年3月期 連結業績予想

- ◆ 東欧の紛争や中国を主とした新型コロナウイルス禍など、世界的に不透明な状況を想定
- ◆ 一方で、値上げの浸透や業務改革の継続により、増収増益を目指す

(単位：百万円)



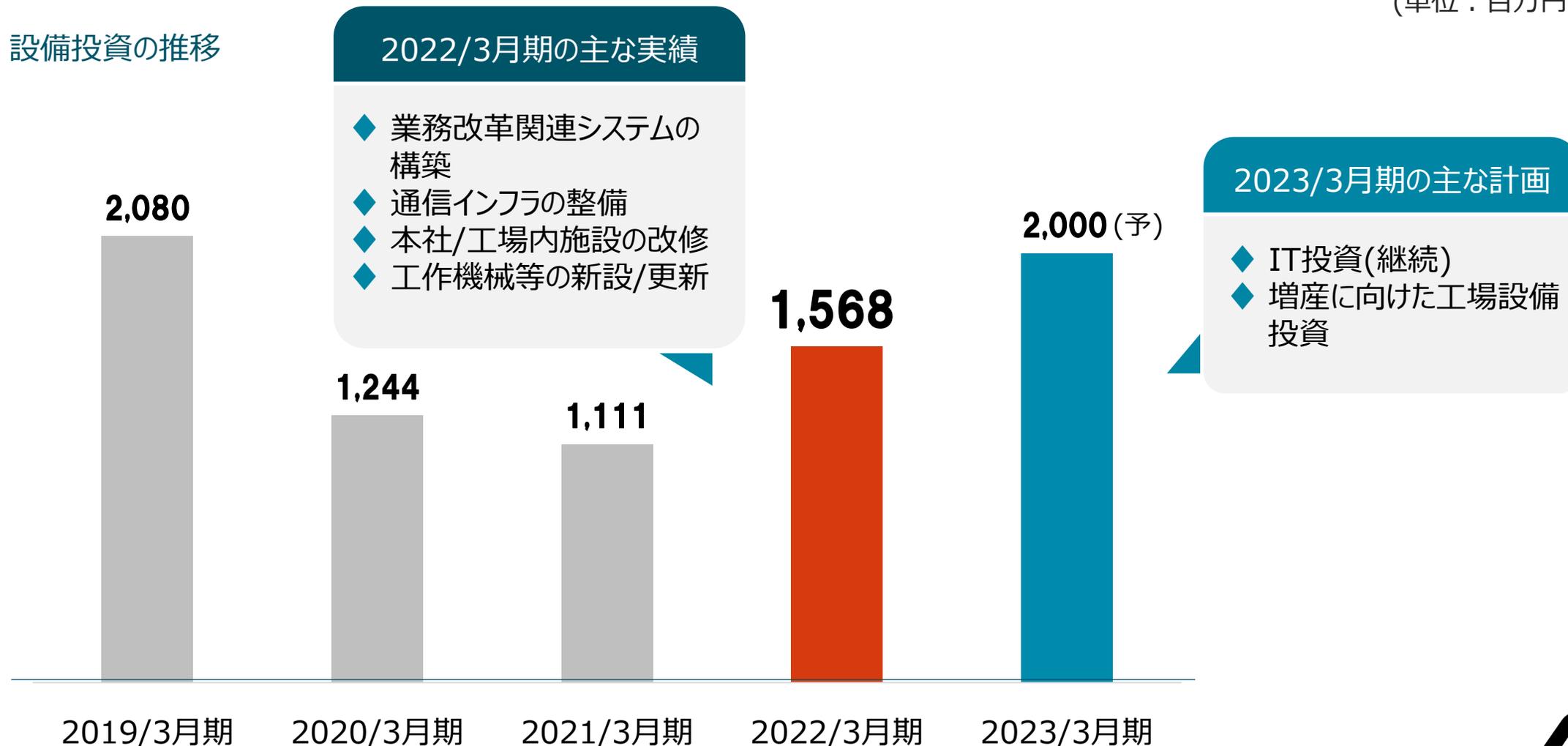
想定為替レート：118.00円/USD,137.00円/EUR,18.50円/CNY

持続的成長に向けた投資計画

- ◆ IT投資は、計画どおりに進捗し、次期も継続
- ◆ 工場設備投資は、増産計画検討のため次年度へスライド

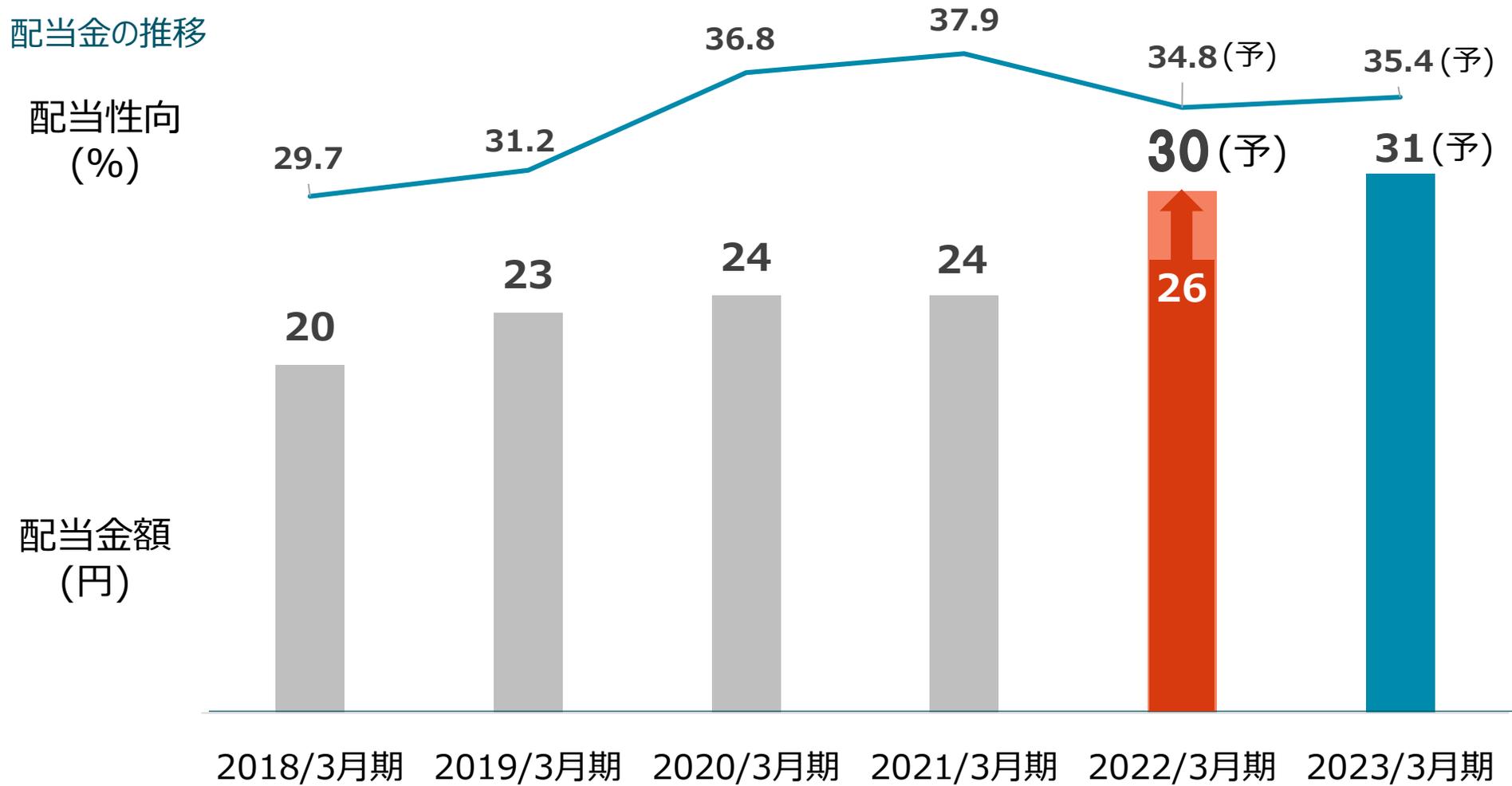
(単位：百万円)

設備投資の推移



株主還元策

- ◆ 成長投資のための内部留保の確保と安定配当の両立
- ◆ 連結業績の「当社株主に帰属する当期純利益」の範囲並びに連結配当性向35%を目安
- ◆ 次期中期経営計画3年で、約15億円の自社株購入枠を設定（発行済み株式総数の約4%）



* 2022年3月期の期末配当金につきましては、6月24日開催予定の第76期定時株主総会決議により確定します。